

議 事 録： 第 2 回 彦根市立病院 経営強化プラン評価委員会			
令和 8 年 7 月 27 日 月曜日		13：30 ～ 14：30	場 所 医療情報センター
出席委員 ※敬称略	佐野 洋史(滋賀大学 経済学部教授)、伊丹 君和(滋賀県立大学 人間看護学部長)、辻 裕(彦根医師会 会長)、布目 雅稔(彦根中央病 院長)、川上 賢三 (豊郷病院 代表理事)、平野 雅穂(彦根保健所 所長)、池田 征史(彦根市福祉保健部 部長)		
欠席委員 ※敬称略	山岡 輝之(北勢経営会計事務所 所長)、高橋 雅士(友仁山崎病院 院長)、大久保 裕次(彦根市総務部 部長)		
事務局	金子 隆昭(事業管理者)、中野 顯(院長)、來住 優輝(副院長・経営戦略室長)、上村 千馨子(副院長・看護部長)、吉川 浩平(地域連携センター長)、樋口 武史(医療技術局長・臨床検査科長)、牛澤 史幸(事務局長)、細野 晃史(事務局次長・企画経理課長・経営戦略室次長)、高畑 拓郎(病院総務課長・経営戦略室主幹)、高橋 宏樹(職員課長・経営戦略室主幹)、藤原 政広(医事課長・経営戦略室主幹)、居原田 敦史(企画経理課長補佐・経営戦略室副主幹)、前川 祐一郎(企画経理課経理係長、経営戦略室主査)		
傍聴者	なし		

議題	令和 7 年度 経営強化プランの評価(進捗状況報告、質疑)
----	-------------------------------

資料	資料 1 彦根市立病院 経営強化プラン 資料 2 彦根市立病院 経営強化プラン(概要版) 資料 3 彦根市立病院 経営強化プラン評価委員会設置要綱 資料 4 彦根市立病院 経営強化プラン評価委員名簿 資料 5 経営強化プラン - 数値目標達成状況 資料 6 経営強化プラン - 6 つの戦略進捗状況 その他資料 1 令和 7 年度経営強化プランの評価(スライド資料) その他資料 2 欠席委員からの質問および回答
----	---

【開会】

事 務 局	定刻になりましたので、ただ今から、「第 2 回彦根市立病院経営強化プラン評価委員会」を開催させていただきます。 本日は、大変暑い中、またお忙しい中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。 開会に先立ちまして、病院事業管理者からご挨拶申し上げます。
金子管理者	(金子事業管理者 挨拶)
事 務 局	金子管理者ありがとうございました。 さて、本委員会は本プランの 2 か年目にあたります令和 7 年度 of 取組結果等について点検・評価を行っていただくものです。昨年度に引き続き委員の皆様方には、大変お世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。 本日の委員会は、15 時 00 分頃を目処に終了させていただきたいと存じますので、委員会が円滑に進行できますようご協力の程、かさねてよろしくお願い申し上げます。 (資料確認 → 不足なし)
事 務 局	それでは、議事に入ります前に、委員のご紹介をさせていただきます。 時間の都合上、事務局から委員の皆様を順次、ご紹介をさせていただきます。 なお、北勢経営会計事務所 山岡 輝之(やまおか てるゆき)委員、友仁山崎病院 高橋 雅士(たかはし まさし)委員、彦根市総務部 大久保 裕次(おおくぼ ゆうじ)委員につきましては、事前にご欠席の連絡をいただいております。 それでは、資料 4「彦根市立病院 経営強化プラン評価委員名簿」の順にお名前をお呼びいたしますので、着座にてお返事をお願いします。 滋賀大学 佐野 洋史(さの ひろし) 委員 滋賀県立大学 伊丹 君和(いたみ きみわ)委員 彦根医師会 辻 裕(つじ ゆたか)委員 彦根中央病院 布目 雅稔(ぬのめ まさとし)委員 豊郷病院 川上 賢三(かわかみ けんぞう)委員 彦根保健所 平野 雅穂(ひらの まさやす)委員 彦根市福祉保健部 池田 征史(いけだ まさふみ)委員 続きまして、事務局でございますが、金子事業管理者、以下、12 名でございます。 よろしくお願いいたします。

【議題 令和 7 年度 経営強化プランの評価】

事務局	それでは、さっそくではございますが、本日の議題であります「令和 7 年度経営強化プランの評価」に移らせていただきます。 彦根市立病院経営強化プラン評価委員会設置要綱第 5 条には、「評価委員会に委員長を置き、委員の互選により選任する。」とあります。昨年度、辻 裕（つじ ゆたか）委員を選任いただいておりますので、ここから先は委員会の進行を、委員長の辻委員にお願いしたいと思います。 辻委員、お席の移動をお願いします。 （辻委員 委員長席へ移動）
委員長(辻委員)	（辻委員長 挨拶） それでは議事に入ります。本日の議題は、「彦根市立病院経営強化プラン」について、その進捗状況を評価するものです。 委員の皆様それぞれのお立場から、忌憚のないご意見をいただきまして、この湖東圏域において「持続可能な地域医療体制を確保する」というプランの目的が達成に近づくよう、委員会を進めてまいりたいと考えております。円滑な議事進行にご協力をお願いいたします。 なお、本委員会につきましては、「彦根市病院経営強化プラン評価委員会公開要領」第 2 条に基づき、公開とさせていただきますが、よろしいでしょうか。
各 委 員	（委員了承の声）
委員長(辻委員)	ありがとうございます。それでは、早速ですが、「令和 7 年度経営強化プランの評価」について事務局より説明願います。
事務局	（その他資料 1「令和 7 年度経営強化プランの評価(スライド資料)」の説明）
委員長(辻委員)	それでは、事務局からの説明に対し、ご意見、ご質問等はございませんか。
委 員	急性期充実体制加算を取得されたと聞いておりますが、病床数の変更があったかということと、病床の役割はどのように変えたのかということについて教えてください。
中 野 院 長	急性期充実体制加算 1 を取得するにあたり、令和 6 年 4 月に地域包括ケア病棟を閉めております。許可病床数は 438 床から 419 床に減少しましたが、稼働病床数は 361 床から変更有りません。これに関しては地域医療構想会議で事前に報告して、近隣の病院には周知しています。
委 員	数字目標があって、色々数字がいっぱい出てくるのですが、病床数の変遷が

	書かれていると分かりやすいので、次回からその点を考慮して説明、資料作成をお願いします。
委 員	2 点ありまして、1 点目は、入院患者数が前年度比約 2,500 人減少していますが、その原因はどのようにお考えですか。2 点目は、MRI の稼働状況について、令和 6 年度は 1 台で 7,282 件、令和 7 年度は 2 台に増やしたけど 431 件しか増えていないという意味だとすると、もっと増えてもいいんじゃないかなと思いましたので、その点について運用がどうなっているかを教えてください。
中 野 院 長	1 点目の入院患者の減少に関しては、なかなかその要因を分析することは難しいのですが、全国的な入院患者数の減と同じく、本院も同じような動きをしていると考えております。人口減少の影響も僅かにはありますが、人口減少率を超えるような入院患者数の減少となっていますので、全国的な傾向ではないかと思われます。 2 点目の MRI の稼働に関しては、委員ご指摘の通り 2 台体制にして、2 倍になるわけではなく、それまでは 1 台体制で相当無理をして、時間外等も使って、1 台でひっ迫した検査体制を組んでいました。そのため、1 台で 1.5 台位の感じで検査を実施していましたので、2 台体制にして 2 倍になるというものではありません。ただ、もう少し件数は増えると予想していましたので、予想と違う傾向が出ています。
事 務 局	MRI の台数についてですが、資料には記載はありませんが令和 6 年度 4 月から 2 台体制となっており、1 台体制であったのは令和 5 年度です。 1 台であった令和 5 年度は年間 6,594 件、2 台となった令和 6 年度は 7,282 件、令和 7 年度は 7,713 件と増加しておりますが、想定よりは少ない状況です。
委 員	入院患者数は減少傾向ですががん患者が減ったから入院患者数が減ったということは考えられますか。
事 務 局	がん患者だけが減っているというわけではなく、全科的に減っているという状況です。
委 員	現在の病床数はいくつでしょうか。また、地域包括ケア病棟の病床は急性期病床に戻したということですか。
事 務 局	令和 7 年 4 月に地域包括ケア病棟を閉鎖し同病棟の 39 床を急性期病床に変更した上で休床の扱いとしました。この時点では許可病床数は 438 床でした。 その後、同年 9 月に 4A 病棟の病床 19 床を廃止して 419 床となり、現在も同数となります。
委 員	プランの中で、外来化学療法から入院化学療法へシフトするという目標を掲

中野院長	げていますが、国の方針としては、外来化学療法で患者さんの負担をなるべく減らし、日常生活を送りながら治療するということを目指しているはずです。入院化学療法へシフトするというのはどういう考えでしょうか。 外来化学療法にシフトするというのが全国的な流れではあります。 しかしながら、現在の診療報酬体系では外来化学療法をすればするほど赤字が膨らんでいきます。他のがんセンターでもそれが問題になっていて、一部では、化学療法を外来からまた入院に戻すというような動きも出ています。診療報酬そのものの問題ではないかなと考えています。
委員	私は市立病院が今後も地域の基幹病院として機能していただきたいという観点から、質問させていただきます。 先の質問で、入院患者の減少が人口減少より進んでいるというお話がありましたが、これからもこの傾向が続き、病院の収入も減っていくことが懸念されます。このような状況で今後、どんなプランで市立病院を立て直していくのかということをお教えいただきたいです。 病院としては急性期充実体制加算等の加算を取って収入を増やし、一方で人件費や材料費を押さえるという努力は思う十分実行されていて、これ以上はできないのではないかと思います。ですので、急性期の患者さんをもっと受け入れていくというようなプランはありますか。 また、特に重症の患者さんは湖北医療圏、市立長浜病院や長浜赤十字病院を受診しているようですが患者の流出についてもどのようにお考えですか。
中野院長	今後の取り組みとしては、高齢者の増加が進む中で、がんの治療が必要な患者に関しては、減りはしないと思います。その中でも、最も多くの方が亡くなる肺がん診療に関しては呼吸器系の医師を増員し充実した診療体制を提供していきます。また、呼吸器疾患に関しては、悪性腫瘍も含めて、他の医療圏域から紹介していただけるぐらいの規模で診ていきたいと考えております。 同様に血液内科に関しても、専門医がいるのは我々の病院だけですので、そういうところを生かして、入院患者を増やしていきたいところです。 また、今後は予防医学が重要になりますので、健診にも力を入れて、病院の収益性を上げていきたいと考えています。 患者が長浜へ行っているというのは、おそらく心臓外科とか当院に診療科がなくやむを得ない搬送であると思われます。 一方で、救急医療に関しては、やはり、ひとつの医療圏域だけで担うのは難しくなっており、今度新しく策定される地域医療構想でも、そういう動きになるのではないかと思います。 ただ、脳卒中に関しては、当院が最も急性期治療をたくさんやっているはずですし、循環器の中でも心筋梗塞診療に関しては当院で完結しています。
金子管理者	今後、新たな地域医療構想が策定された時に、当院は地域の急性期拠点病院であるということをはっきりと掲げて行きたいと考えています。ですから、昨

委員長(辻委員)	年４月には、地域包括ケア病棟を閉鎖し、今後ますます急性期医療を強化してまいります。 他にご質問はありませんか。 無いようでしたら、最後に、本日欠席された委員さんから事前に質問書の提出はありましたか。
事務局	１件提出がございました。 本日欠席されました山岡委員より質問書が来ておりまして、質問の内容として２件ございますので、ご回答させていただきます。 （事務局より質問内容と回答を報告、詳細は「その他資料２ 欠席委員からの質問および回答」に記載の通り。）
委員長(辻委員)	ありがとうございます。 委員の皆様から、質問、追加質問ございませんでしょうか。 無いようですので、以上で本日予定しております議題を全て審議いたしました。円滑な審議進行にご協力いただきましてありがとうございました。 事務局へお返しします。

【閉会】

事務局	議事進行ありがとうございました。また、委員の皆様方におかれましても限られたお時間ではありますけれども貴重なご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。 最後に中野院長よりご挨拶を申し上げます。
中野院長	（中野院長 挨拶）
事務局	ありがとうございました。 本委員会いただきましたご意見につきましては、今後の病院経営に反映し、引き続きプランに掲げる目標を達成するために取り組んでまいります。 なお、次回の委員会につきましては、令和８年度、今年度の進捗状況进行评估いただくこととなりますので、令和９年度に入りましてから、次回の会議を開催させていただくこととなります。委員の皆様の任期につきましては、プランの最終年度、令和９年度の評価までということで、お願いをさせていただいておりますので、引き続きよろしくお願いをいたします。 それでは、以上もちまして、第２回彦根市立病院経営強化プラン評価委員会を終わらせていただきます。ありがとうございました。